

-----9月14日-----

今週のアウトルック (9/14 ~ 9/18)

先週は着実に円高が進んでいる雰囲気は漂う一週間でした。

ドル円は週末にはついに91円を割り込み、90円割れをうかがう状況となっています。ここまで円高が進んでいる理由として、民主党政権の政策、ドル売りが止まらない影響、投機筋売り仕掛け等言われていますが、これという決め手に欠けるようにも思います。過去にも明確な理由が見当たらないまま、円高が進んだことは何度もありました。逆に理由があまり特定しづらい状況で円高が進んだ場合ほど、簡単に下げ止まることが少なかったようにも思います。ただ、90円を割って、ストップを巻き込み大きく下落した後が、セリングクライマックスの感じもあります。今週は年初来安値の87.5円が意識されたあたりで、大きく反転してしまう可能性も十分にあるように思います。

また株価は円高の影響をさほど受けず、NYダウにつられる形で上昇傾向を崩していません。このままの状況が維持されるようであれば、一度円安に向かう可能性がより高まるように思います。予想レンジは88円から93円と考えています。

ユーロ円も週末にはドル円の大幅下落の影響で、131.5円あたりまで下落してきています。今週もこの動きを持続できるかは少し微妙なところにあるように思います。ユーロドルが目先の上限付近の1.47付近まで来ています。ここで反転する可能性が高くなれば、ふつうはユーロ円も円高に向かうのですが、ドルの買い戻し傾向が鮮明になるとドル円も上昇し、ユーロ円もドル円上昇の影響をより受ける可能性が高くなります。場合によっては方向感が見いだせないような動きになる状況もあるように思います。予想レンジは131.5円から135円あたりと考えています。

ポンド円も普通に考えれば、最近のレンジの下限である150円あたりを目指す状況になりやすいようにも思うのですが、ドル買い戻し、ドル円上昇の傾向が強くなれば再び153円あたりを目指す勢いが出てくるように思います。予想レンジは150円から154円あたりで考えています。

今週はより一層の円高か、円安への反転か予想しづらい状況のように思います。ただ、今週はすんなり年初来安値を更新してしまう可能性は、株価が大崩れでも起こさない限り、少ないように考えているのですが、少し不安要素は残ります。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。